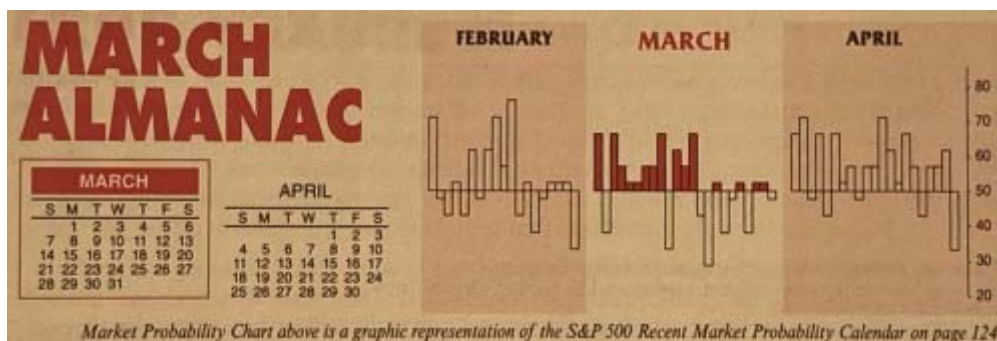


Post-Election Year March: Performance Slips to Bottom Half

大統領選挙翌年の3月：パフォーマンスは下半期に低迷



激動の3月相場は、月初に価格が上昇し、月末には株価が暴落する傾向がある。ジュリアス・シーザーは「3月15日に気をつけろ」という有名な警告を無視したが、投資家もこの警告を無視してきた。株価は、月の後半には、時にはむしろ急激に下落する傾向がある。2020年3月には、DJIAは20日に終了する週に4011ポイント(-17.2%)を急落した。

通常はまともなパフォーマンスを示す月だが、選挙翌年の3月は公約を実行する負担が影響を及ぼし、平均的なリターンが顕著に削られている(下の統計表を参照)。選挙後の3月はDJIA、S&P 500、ラッセル 1000、そして、ラッセル 2000にとって8位で下から5番目で、ナスダックは下から4番目の9位にランクされている。1973年以降の選挙後12年間で、ナスダックは6回上昇しており、2009年、2013年、2017年と3回連続で上昇している。

Post-Election Year March since 1950				
	Rank	Avg %	Up	Down
DJIA	8	0.3	8	9
S&P 500	8	0.6	8	9
NASDAQ*	9	-0.2	6	6
Russell 1K**	8	0.7	5	5
Russell 2K**	8	1.1	5	5

* Since 1971, ** Since 1979
© StockTradersAlmanac.com. All rights reserved.

1950年以降の選挙翌年の3月

トレーダーズ・アルマナックを有料会員には、重要な経済指標の発表日、日次市場確率指数の強気日と弱気日、オプションのSQや祝日を中心とした市場動向など、年間の各月に発生する季節的な傾向を、見やすいカレンダー・グラフィックで詳しくご紹介している。